

協働のまちづくり 第42回

地島：潮風の中の交差点

その2

これまで、そして、これから

「人へいかにまちはく事業」や「元気な島づくり」など協働のまちづくりの取り組みが5つものつもも交差しながら展開する地島。どうしてこんなに元気なのか。今回は、それを可能にする秘訣(ひけつ)のようなものでもあろうでしょうか。今回は、そのあたりを探ってみました。

問い合わせ先 市民活動交流室 ☎(36)0311

別れを惜しみながら

地島での交流イベントを終えて鐘崎に帰る渡船のデッキの上で、福岡教育大学の学生がこんな会話を交わしていました。「この島はみんな、何でも積極的やもんね、すごいよな」(内野由太さん・3年)

「みんなでワーツとやるのいいね、ここは楽しい！」(國司田稚子さん・4年)

2人はもう島に来るようになって3年。子どもたちとの会話ははずみです。島でただ一人の中学生の前田竜汰くんにも、「お父さんの後を継いで漁師になるんやろ？」なんてズバリと聞いたりします。

内野さんは間もなく中国に留学、國司田さんも大学を卒業です。しかし、

「この島とのつながりはいつまでも…」との思いが、両手を振って別れを惜しむ姿にはつきりと見て取れました。

島民が主体となつて

79歳でなお現役漁師の村田繁美さんは、大学生たちのそんなほれ込みように「そんなにカッコいいもんじゃない」と苦笑いです。むしろ、「現状は厳しいのに、島のモンだけじゃ何もできないのです。陸部の人たちに力を貸してもらって、一緒に汗を流さんと島は元気になるん」とさえ思っています。

村田さんは、市の「元気な島づくり事業」に手を挙げて、グラウンドゴルフ親善交流大会に取り組みました。①島外との交流促進②小学生から

ら高齢者までの世代間交流③新フェリー航路開設に向けた島の魅力、情報発信など、狙いは盛りだくさん。それを「島民主体で事業推進する」というのがミソです。

昭和40年代、イタヤ貝漁で「1日で50万円あげた」ほど、にぎわった時代を知る村田さんらの世代にとって、今の厳しさはひとしおなのでしょう。だから「さざえの会」の女性たちが「島の食材を生かした料理や食文化の発信」に懸命に打ち込む姿にもエールを送ります。「嫁たちがよう頑張ってください」という声をあちこちで聞きました。

とにかく頑張ります

前田浩昌さん(54歳)は漁で海に出るのほもちろん、イノシシを追って山にも入り、子どもたちのイベントがあればPTA会長として行事の先頭にも立ちます。島のキーマンであることは誰もが認めるのですが、その前田さんも「島の将来

を描くのは難しい」と実感する一人です。



福岡教育大学生や子どもたちで大いにわいた「地島での交流イベント」

「若い者が漁業でなくてもここで暮らせるようにできないものだろうか」と考える前田さんにとって、行政との距離感が変わるの大きいことです。「いろいろな難しいこと

宗像市消費生活センター

転ばぬ先の杖

☎(33)5454

でばんじちゃん

高齢者をターゲットにした投資詐欺

ダイレクトメールの中に……!

高齢者を狙った金融商品の契約トラブルが増えています。中には、被害が数千円になるケースもあります。

■相談事例

1カ月前、「全国の高齢者の中から厳選した100人に介護施設のパンフレットを送りたい」という電話があったが、必要な情報が断つた。その後、まだパンフレットが届いていないのに、別の

会社名で、「パンフレットは届きましたか? 10万円で購入取りますので捨てないでください」という電話があった。不審に思ったいたら、昨日メール便でパンフレットが届いた。味が悪くて開封できない。(70歳代・女性)

■処理結果

センターへメール便を送らなければ何の問題もないことを説明しました。

■アドバイス

センターへの平成21年度の高齢者が全相談の25

センターへメール便を送らなければ何の問題もないことを説明しました。

また、今回の相談のような投資の場合、発行元の経営状況の悪化によって損をすることがあり、元本も保証されていません。金融商品は、仕組みも複雑で理解しづらく、全く投資経験のない高齢者が申し込むのはとても危険です。

「もうかるから」「一口だけ」と安易な気持ちで申し込むと、後々大きな被害に巻き込まれることもあります。

また、今回の相談のような投資の場合、発行元の経営状況の悪化によって損をすることがあり、元本も保証されていません。金融商品は、仕組みも複雑で理解しづらく、全く投資経験のない高齢者が申し込むのはとても危険です。

センターへの平成21年度の高齢者が全相談の25

新鮮な旬の魚定食が大好評!

さざなみ館食堂

島だより 大島

大島さざなみ館の食堂が7月の営業開始以来、好評を博しています。特に、新鮮な「旬の魚定食」は絶品です。

また、旬の魚をしょうゆダレに漬けて茶漬で食べる「今日の茶漬」は、島ならではの漁師料理とあって、こちらも人気です。

新鮮な魚料理が味わえる大島さざなみ館食堂。食堂で扱う魚は、大島のまき網船団をはじめ、すべて大島の漁師が玄界灘で捕ってきた魚で、鮮度抜群です。この機会にぜひ味わってください。



人気の「旬の魚定食」



新鮮な魚を使った「今日の茶漬」

- 営業日 11月29日(月)までを予定 *毎週火曜日は定休日
- 営業時間 11:00~14:00
- メニュー
- ▽旬の魚定食 1,000円
- ▽今日の茶漬 1,000円
- ▽煮魚定食 1,000円
- ▽焼魚定食 1,000円 など

問い合わせ先 大島地区コミュニティ運営協議会 ☎(72)2321

多重債務電話相談

■県弁護士会 毎週土曜日 10:00~13:00 *祝日は休み ☎092(721)6778	■福岡財務支局 毎週月~金曜日 9:00~17:00 *年末年始、祝日は休み ☎092(411)7291
---	--